

令和6年度第1回花巻市史編さん委員会 会議録

1 開催日時

令和6年6月27日（木） 午後3時00分～午後4時00分

2 開催場所

花巻市博物館 講座・体験学習室

3 出席者

(1) 委員10名

佐藤由紀男委員、七海雅人委員、兼平賢治委員、田中藍子委員、中嶋奈津子委員、
大原皓二委員、阿部茂巳委員、菊池邦雄委員、高橋信雄委員、中村良幸委員

(2) 事務局（博物館市史編さん室）9名

佐藤勝教育長、瀬川幾子教育部長、村田豊隆室長、布臺一郎副主幹、
小原伸博上席主査、高橋静歩上席主査、飯坂正弘学芸調査員、
柳原純也行政事務員、千田剛事務補助員

4 議 事

報告事項

専門部会長について

協議事項

(1) 専門部会の設置について

(2) 市史で取り扱う事項について

5 議 事 録

(1) 開会（進行：村田豊隆室長）

[委員会成立報告（委員10名出席）]

(2) 挨拶

(佐藤勝教育長)

今日は大変お忙しいところ、ご出席をいただきありがとうございます。

まず、博物館市史編さん室で人事異動がありましたので、遅ればせながら私より職員のご紹介をさせていただきたいと思います。

[市史編さん室職員紹介]

花巻市博物館は、本年で開館 20 周年を迎えました。今年は大きな展示を 2 つ用意しております。来月からはアニメ文化を題材とした「アニメージュとジブリ展」、その後は縄文の美術性を追求した著名な写真家による写真展「縄文ワールド」を予定しております。

3 月の委員会では、資料の収集状況についてのご報告の他、専門部会の選任について、児童向け市史の執筆者と監修者の選任について、そして今年度のスケジュールについてご協議いただきました。それらを踏まえ、本日は専門部会長の選任についてご報告を申し上げた後、専門部会の設置を協議させていただき、市史で取り扱う事項についてピックアップしたものについて、お示ししてご助言いただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

(3) 議事

(村田豊隆室長)

それでは、これより議事に入らせていただきます。

議長は、当委員会の委員長でございます高橋信雄様にお願いいたします。

(高橋信雄委員長)

それでは早速、進めていきたいと思います。

報告の専門部会長について事務局からご説明をお願いします。

[小原伸博上席主査：専門部会長について説明（会議録への掲載省略）]

(高橋信雄委員長)

今の報告について委員の皆様から、ご質問ありませんでしょうか。

[意見無し]

(高橋信雄委員長)

それでは協議に入らせていただきます。

(1) 専門部会の設置について、事務局から説明をお願いします。

[小原伸博上席主査：(1) 専門部会の設置について説明（会議録への掲載省略）]

(高橋信雄委員長)

只今、専門部会について説明がありましたが、ご質問等いかがでしょうか。

(佐藤由紀男委員)

資料を読ませていただき、気になったことがございます。

1つ目は専門部会設置要綱の謝礼です。私はかつて行政でこのような事務をしていたわけですが、委員会等の会議は1時間半や2時間で済みますが、例えば文化財保護審議会の調査などは、終日8時間という調査もあるかと思います。こうした会議と調査は区別して、調査については～時間で～円にしたり、少し検討した方が良いと思いました。

2つ目は専門部会員の名簿ですが、出来るだけ地元には張り付いている方を部会員に入れるのが良いと思いました。一番情報をお持ちなのが、地元には張り付いて文化財の調査をされている方なので、このような方々が何らかの形で部会に入っていただく方が良いと思います。

(村田豊隆室長)

まず1点目の専門部会設置要綱の謝礼でございますが、第8条2項に関しては、市の基準として原案の通りに考えていますが、調査のところは佐藤委員が話された通り、長時間にわたる調査も当然、有り得るところですし、他の自治体の事例で1時間～円という形で規定がされているところもございますので、事務局でも検討させていただきたいと思います。

2点目の専門部会員になっていただく方々の意見ですが、考古の部分に関しましては、当市でも専門の職員が調査等を行っておりますので、そのような職員を専門部会にも参画できるような形で考えたいと思います。

(高橋信雄委員長)

その他ございませんか。

専門部会の要綱と名簿については、ただいま事務局の方から説明がありましたように、佐藤委員の話されたことを検討して、盛り込むということでよろしいでしょうか。

それでは、次の(2)市史で取り扱う事項について、事務局から説明をお願いします。

[小原伸博上席主査：(2)市史で取り扱う事項について説明(会議録への掲載省略)]

(高橋信雄委員長)

市史で取り扱う事項について、ご意見ありますでしょうか。

(田中藍子委員)

資料8ページの現代ですが、現代の時代範囲を平成までにしたのは何か意味があるのでしょうか。

(小原伸博上席主査)

平成までにした理由について、令和までにしますと、さらにまたどんどん追記していかなければならないというところがございます。

平成のどこまで扱うかというところに関しては、例えば北上市では平成 28 年（2016）の岩手国体までにしておりますし、遠野市では平成 23 年（2011）の東日本大震災までとしております。この 2 つの自治体を参考にしながら、花巻市では平成のどこまでにするか検討していきたいと思います。

(高橋信雄委員長)

その他ございませんか。

(七海雅人委員)

すみません。忘れてしまったのですが、考古資料編は作るんでしたでしょうか。考古資料編が先史時代の資料編になるのでしょうか。中世は、考古資料編に文献資料と考古資料が編成されるのかというところを確認したいです。

(中村良幸委員)

今の件ですけれども、実際にははっきり決まっておりますが、先史、古代、中世それから近世の一部に関しては、発掘調査している分を全てまとめた方が良いのではないかと。専門部会が設置された後、その件を各専門部会に諮り、別冊の考古資料編として編さんした方が良いのではないかという意見が内部で出ております。今後、専門部会に諮ってから正式に決めたいと思いますので、よろしくお願いします。

(高橋信雄委員長)

古代の赤彩球胴甕ですが、これが出土されている関東の遺跡が武蔵国小野郷になります。そうすると、中世の中條氏の出身と重なってきます。単純に赤い甕が関東で出土され、中世の中條氏の出身地と絡むとなると、古代と中世がきっちり分かれるのではなく、古代と中世も互いに絡んでくる。こういったことをどう区分けするのかという問題も出てきます。こうした重なる部分をどのように処理していくのかということもぜひ検討していただければと思います。

(村田豊隆室長)

ご指摘いただいた時代の境目に関して、古代から中世、中世から近世というようなそれぞれの時代の境目というところも、どちらに帰属するのかは、やはり議論が必要だと思いますので、専門部会等で協議をお願いし、整理していきたいと考えております。

(高橋信雄委員長)

その他にありませんか。

(大原皓二委員)

私が気になったのは近代のところですよ。花巻空襲と出てきますけれども、明治以降の日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、大東亜戦争といった項目が1つも出てきていません。花巻から何人招集され、何人亡くなっているか、満州開拓団で苦勞された話も必要だと思います。日本全国非戦闘員320万人以上の方が100年以内に亡くなっているという事件があったということを、若い子供たちに教えられるような項目が欲しいと思います。

(村田豊隆室長)

近代に関しては、調査、資料収集とまだ不十分なので、今後聞き取りといった作業も出てくるかと思います。戦争という部分にも焦点を当てて、今後も調査等々進めていければと考えております。

(菊池邦雄委員)

石鳥谷に、見山古墳というのがあります。これは石鳥谷で初めて発掘された古墳だと思いますが、これを先史に入れて欲しいです。

それから古代ですが、石鳥谷に安倍道という石鳥谷の大興寺から大瀬川、紫波の片寄に繋がる道路があります。

近世のところで、石鳥谷の北の方に村境塚があります。そして、石鳥谷と紫波町の境に藩境塚があります。

それから近代です。石鳥谷の酒ですけれども、大正末期から戦前あたりまでは岩手県には100くらいの酒造がありました。岩手県の内ベストテンに石鳥谷の酒造が3か所入っています。宝峰、七福神、それから稲の友ですね。そういった酒造も載せて頂ければと思います。

(村田豊隆室長)

只今、お話のあった項目は、リストの方にも加えさせていただきたいと思います。

(高橋信雄委員長)

その他、ございませんでしょうか。

(兼平賢治委員)

今回、市史で取り扱う事項についてということで挙げていただきましたが、これは今のところこういったことが通史編、資料編の中で取り上げられるのではないかという位置づ

けでよろしいでしょうか。

こういった項目を挙げるときに、他の自治体ではその市で指定した文化財は漏れなく取り上げています。市で指定した文化財が通史編や資料編の中に出てこない、何で無いのか、という意見も出てくるので、そういったところは漏れなく網羅して欲しいです。

(村田豊隆室長)

取り上げた事項の位置づけでございますが、市史の中に登場してくるということを想定はしておりますが、この項目についてこの場で決定して、これで固めるということは考えておりません。委員の皆様からいただいたご意見や今後も調査などを進めていく過程で、新たに取り組み入れる必要があるものが出てくると思いますので、そういったものを検討し、この最終的に通史編、資料編として掲載すべきものというところで整理していきたいと思います。

それから、指定文化財の考え方につきましても、現時点では固まった考えは持っていないところでございますので、今いただいたご意見も念頭に置きながら、指定文化財の市史への反映ということで検討していきたいと思います。基本的には取り入れるべきものと考えております。

(高橋信雄委員長)

その他にありませんか。

(阿部茂巳委員)

近世については追加があると思います。各番所とありますが、この中に倉沢が抜けております。花巻市に関わる番所としては、浮田・倉沢・田瀬の3か所があります。それから隠れキリシタンという名称ですが、これは潜伏キリシタンが正しいと思いますので確認してみてください。

そして、現在の花巻市を考える場合には在町の関係というのが非常に大事になってくると思います。花巻三町は別格ですけども、石鳥谷それから大迫、土沢は在町として欠かせないと思います。それから在町には、関口町があります。そういうところは非常に大事じゃないかと思います。八幡通と安俵通というのは、これは盛岡藩の穀倉地帯です。産業の中の一番に挙げなければいけない場所です。蔵が2つあるのは盛岡と花巻にしかありません。花巻には、花巻御蔵と新御蔵の2か所があり、その蔵から江戸の南部米として、毎年北上川の舟運で運ばれていく大変重要な拠点になっておりますので、それを見逃したら、盛岡藩の花巻地区の特徴を見失うことになります。

産業については、葉タバコだとか馬車、そういうのは大切だと思います。岳妙泉寺がありますけども、早池峰山の参詣というのは大変大きな行事になっておりますので、それは逃してはならないと思います。

(村田豊隆室長)

只今、お話がありました項目に関しましてもこちらの方に整理させていただきたいと思っています。

また、実際に今後の作業におきましても、逆に掲載を見送るような項目というのも今後の協議によっては出てくると思われますので、それも含めて検討したいと思っています。

現在の花巻全体としての花巻市史を編さんしていく方針でございます。したがって当然、花巻地域をはじめ大迫、石鳥谷、東和の3地域も含めた全市域での市史というところを念頭に置いて、編さん作業を進めていきたいと思っています。

(高橋信雄委員長)

叩き台というよりは、類例としてここに挙げてもらいました。その他にご意見はありませんか。

[意見無し]

それでは市史で取り扱う事項については、ご意見をいただきましたので、さらに事務局で検討してもらいながら進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

協議は以上2点です。今日の議事はこれで終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

(村田豊隆室長)

高橋委員長、ありがとうございました。それでは次第に戻させていただきます。

5. その他でございますが、事務局の方から今日ご提示しております資料3の令和6年度のスケジュールにつきまして説明させていただきます。

[小原伸博上席主査：令和6年度のスケジュールについて説明（会議録への掲載省略）]

(村田豊隆室長)

続きまして、兼平委員から資料のご紹介ということでお話を伺っておりますので、兼平委員よりお願いいたします。

(兼平賢治委員)

その前に確認させてください。今ご報告いただいたスケジュールについてですが、専門部会の開催のところで、これは今年度開催する分の予算等はもう措置されていることよろしいでしょうか。

それから、資料収集についてですが、花巻市博物館或いは合併したところの資料館等の

目録や資料ですが、これが把握出来ていないとどのように進めて良いか想定が出来ませんので、目録の粗いものでも結構ですので、いただきたいと思います。

そして、先ほど佐藤委員から、地元の方に執筆に加わって欲しいという話がありましたが、近世ではせつかくですから市史編さん室の因幡さんにも加わって欲しいという気持ちがあります。他の自治体では執筆されている方も居りますし、部会員ではなくても、執筆協力員などそういった形で協力いただくことができるのか確認したいです。

(村田豊隆室長)

まず、1点目の専門部会につきまして、今年度は9部会の内、5部会を立ち上げて、開催させていただく予定で考えております。その分の予算措置は行っております。明確に何月にどの部会というところは、調整しての日程ということになります。

また、職員の執筆に関してですが、資料5ページをご覧くださいと思いますが、最後に担当職員ということで、それぞれの時代に市史編さん室の職員がお手伝いさせていただくということで載せております。この中には当然、資料収集とか調査のお手伝いもございますが、専門的な職員に関しては、執筆の部分でもお手伝いができるのではないかと考えております。

資料目録につきましても、ご提供できるものから委員の皆様にもお示しさせていただければと考えております。少し準備の時間をいただきたいと思います。

(兼平賢治委員)

わかりました。それでは資料の紹介ということで本日、編さん委員会が開かれる前に、お集まりになっていた委員の方々にはご紹介しましたが、東京の古書店から東和町の晴山村と館迫村の肝入の御用留15冊と古文書が売りに出されていました。ちょうど花巻市から編さん委員のお話もいただいたタイミングでもあったので何かのご縁と思い、私の方で購入しました。目録も作っております。盛岡藩では村肝入の文書がまとまって出てくるのが珍しく、幕末なので面白いところがありますが、そういったものもぜひ市史にも活用したいと思います。以上、資料の紹介でした。

(村田豊隆室長)

ありがとうございました。その他、委員の皆様からございませんでしょうか。

(菊池邦雄委員)

花巻市文化財保存活用地域計画ですが、石鳥谷の分を見ましたけれども、遺跡名や史跡などが結構重複しているところがあります。名前が違っているところもあります。1点度検した方が良いでしょう。

(村田豊隆室長)

ありがとうございます。この件は、担当の文化財課の方にお伝えしたいと思います。
その他、ございませんでしょうか。

[その他無し]

それでは以上をもちまして、令和6年度第1回花巻市史編さん委員会を終了とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

閉会

(以上)